

YU 夢 ME

もくじ

縁は奇なもの……………	1
ホテイアオイとめだか・短歌……………	2
高齢者と年齢・川柳……………	3
長寿園の日々……………	4

縁は奇なもの

入居者 上野 登志子

冬はとても寒い栃木県から温暖な湘南に移住して二度目の冬を迎えたところです。

ここは、この世からあの世に旅する人の休息所のような所だと思います。

私は多くの過去を捨て、俗世を離れ穏やかに生きたいと、この場所に来たのです。今では親しい友人も何人かでき、会話を楽しんだり、朝のラジオ体操や介護予防の体操を続けたりと、リズムのある毎日を過ごしています。

そんな日常の中で、とても「奇しき縁」と巡り会いました。ある日、入居者のKさんと会話をしているうちに、私たち

長寿園理念

「人生の目的は円満幸福の生活にある」との信念に基づき、高齢者がそれぞれ円満で幸福な生活ができるよう所要の協力と支援を行うことにより社会に貢献します。

【発行所】
一般財団法人 長寿会
 小田原市入生田475
 TEL.0465-24-0002(代)
 発行人/加藤 伸一
 編集/「夢」編集委員会

二人は戦時中の疎開先や小学校が同じだったのを知って、奇遇に驚いてしまいました。私の妹は同学年、私は先輩です。その後になって二度目の奇遇にビックリ！なんとKさんの親友だった子が、我が家の隣人だったのです。

「もしかして、私たちは大昔に町のどこかですれちがっていたかもね」と、人の縁の繋がりの不思議さに、会う度に感動や驚愕を繰り返しているのです。

それからというものKさんは、何十年も音信不通だった友としばしば文通したり、再会までも果たしたりと近頃はちよつと輝いて見えます。私とて終の

栖に来て、同じ時空を共有した人に出会うとは、予期せぬ嬉しい出来事でした。

最近になって思ったのです。せつかく天下の箱根のそばに住んでいるのだから、いろいろな所に出掛けなくては損だと。そこで箱根や小田原の観光や温泉めぐりを始めました。

なんと素敵で贅沢な趣味が見つかったのでしょうか。このような老後の生活が送れるのも長寿園の職員の皆様方に「いつも守られているからこそ」と、心から感謝しながら、この休息所で平安な日々を過ごしていきたいと思えます。



ホテイアオイとめだか

入居者 小池 怜子

箱根登山鉄道板橋駅の近くに、小ゆるぎというデイサービスのある会社があります。

高齢化によって利用者は多く、送迎の車は頻繁に出入りしています。

一〇月のある日、私は小田原百貨の板橋店で買い物をして、園のマイクロバスを小ゆるぎの前で待っていました。玄関前に甕があり、ホテイソウの花が咲いていました。

すると、中から出てきた職員の方から「長寿園の方？」と訊かれ「はい」と答えると、「どうぞ」と椅子を出して下さって恐縮しました。

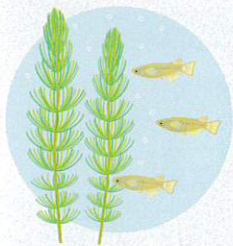
ホテイソウは最後の一輪だそうで、一年に一日しか咲かない花だと教えてくれました。

池などに群生して、次々に開花している景色しか印象がなく、一日一花とは知りませんでした。

その後十一月に又寄つてみると花はなく、葉と茎の間を赤いメダカが泳いでいました。緋メダカと教えて呉れました。緑の葉と茎の間を泳ぐ緋メダカは、とても奇麗でした。

メダカといえば、スペースシャトル「コロンビア号」に、宇宙酔いをしない四匹のメダカが選ばれて脊椎動物として、初めて向井千秋さんらと一五日間宇宙旅行しました。そして、宇宙で産卵、飛行中に幼魚が孵化、帰還、約二〇年前のことです。

その後は一万匹を超え、宇宙メダカとして小中学校等で飼育されているそうです。



短歌

「戦中戦後を語る」へ参加して

田中 和子

学童を引率疎開させた日々

久野先生の苦悩に涙

ただ一羽のニワトリ育て三十の

卵を貯めた子等の成長

疎開先苦勞の中で育んだ

友情へ師の熱い眼差し

「雑詠」

青木 千代

腰痛の注射に通う秋雨の

街へ明るいつとを選ぶ

珍しい十一月の雪景色

観光客に和服も混じる

小池 怜子

いのししに球根食われ山百合は

長興山の絶滅危惧種

ひよいひよいと電線渡る

サル群れ

何の合図かキーキーと鳴く

小池 怜子

戦地での苦難を語る入居者の

記憶は確と言葉に溢れ

空襲に防空壕へと逃げ込んで

頭巾が並ぶ声も立てずに

田川 富子

お堀の鯉見れば柴又懐かしい

寅さんの街私の街

一年の早さを思う十二月

たった一枚残ったこよみ

鈴木 芳子

はからずもわれ戦災にあいし日は

斎藤茂吉の誕生日なり

夕暮の仙石原のすすき野を

よぎる弧のまなこが光る

高齢者と年齢



理事長 加藤 伸一

長寿園では毎月誕生会を夕食時に行っております。もう四〇〜五〇年になるでしょうか。昔はお誕生者全員のお歳を發表して長寿をお祝いしていました。還暦、古希、喜寿、米寿をお祝いは自然であり、祝われた方も自然に喜ばれておりまし

た。ところが、二〇年ほど前に女性のご入居者から八〇歳前は恥ずかしいので年齢を言わないでほしいと要望され、しばらくは八〇歳以上の方のみ年齢を読み上げておりました。それがだんだんと上昇し、現在では九〇歳以上の方のみ読み上げさせていただいております。

例えば、女性の平均寿命は八七歳であり、そこまで生きても当たり前です。さらに女性はいくつになっても女性で年齢を気にされません。むしろその方が自然なのかもしれません。八七歳より前に亡くなればお若いのにということになります。ところが、男性はやや異なります。平均寿命が八〇歳だから八一歳以上は長生きということになるのです。長寿園ご入居の男性はほとんどが八〇歳以上です。元気で健康な男性ばかりです。しかし、年齢に関して男性のみ読み上げというのもおかしいので結局読み上げないでおります。昨年の新聞に六五歳以上の労働者の三六%が介護関係に従事しているという記事が出ておりました。それどころか七〇歳以上で働いている人はざらです。

政府の調査でも現代の高齢者の勤労意欲は旺盛で、働けるうちが多いそうです。現政権の提唱している「一億総活躍社会」というのは、裏を返せば少子化や人口減少で不足している労働力を女性や高齢者でカバーしようということなんです。ところで憲法

には国民の勤労の義務というものがありませんが、ニーズが一致していれば喜ばしいことです。高年齢者という従来のくくりでは一概に論ぜられない問題であると思います。認知症は六五歳前の人でも多く発症しています。また、六五歳以上のドライバーの交通事故は増加するばかりです。さすがに七五歳以上で働く人の数は格段に少なくなりますが、定年が七〇歳になるのはそう遠くない話でしょう。いわゆる「古稀」です。「古稀」とは七〇歳まで生きるの「古来稀なり」という意味です。稀どころか、現代では人生はまだまだ終わらないのです。年齢によるイメージが大きく変わってしまい、社会も本人もその調整に戸惑っているのではないのでしょうか。そのことは当

然高齢者福祉の分野にも大きく影響し、介護の現場では昔でいうところの「老々介護」的現象が起こっています。それは単に年齢上のことであり、二〇歳のヘルパーと六五歳のヘルパーの力量の差を押しはかるのは非常に難しいことになっております。

これからしばらくはこれまでは考えられなかったようなことが多く起こるでしょう。日本は世界に類を見ない超高齢化社会なのですから。

大切な備蓄でもある体脂肪
脳トレのプリントなのに
誤字がある

小池 怜子

川柳

田川 富子
緑から紅へ改革まっしぐら

ファッションも注目あびる
女性知事

長寿園の日々

ショートコース



C棟秋の行楽

平成二九年

一月 一日	初顔合わせ	一月二七日	C棟秋の行楽
九日	新年会	三〇日	ショートコース
一五日	どんど焼き	一二月 七日	ロングコース
		一七日	歌声の部屋
		二四日	クリスマス会食

ロングコース



歌声の部屋



クリスマス会食



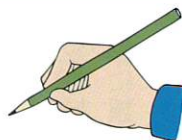
どんど焼き



初顔合わせ



編集後記



夢編集委員会

今年アメリカで8年ぶりにトランプ新大統領誕生という世界的にも大きな出来事から始まりました。皆様にとっても何か嬉しい出来事が起きる、そうした1年になるよう日々楽しく過ごしていきましょう(^^)/



新年会

